

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業
 経常事務事業
 建設事務事業

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連

有
 無

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	男女共同参画講演会の開催事業							
1-2 担当	部	市民部	課 又は施設	市民協働課	係	市民活動推進係	評価票作成者	男女共同参画担当係長 樋口 進
1-3 総合計画における施策の体系	節	交流と市民参加 「市民と行政が尊重しあう協働のまちづくり」			基本施策	男女共同参画	コード	5 1 4
	項				単位施策(中)	意識啓発	コード	5 1 4 1
		参加と協働			単位施策(小)	市民講座等の開催	コード	5 1 4 1 2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市内在住者・参加希望者		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)		映画祭・講演会等に参加をしてもらうことにより、男女共同参画の周知理解を促し、意識啓発を図る。		
1-5 事務事業の内容	あいち国際女性映画祭・男女共同参画講演会等の開催							

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	映画祭実施にあたり、広報・新聞折込チラシ・看板・ポスター等広くPRし、観客動員数増加を図った。	あいち国際女性映画祭は今年度11年目を迎え、メディアにも度々取り上げられることから、県下で定着しつつある事業である。		前年度に引続き映画祭の動員数は大変多く、また、「豊明市での開催だから参加をすることができた」という市民アンケートの意見からも、市民のニーズは高い。	
	平成19年度					
	平成20年度					
	平成21年度					
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名			前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	男女共同参画講演会への参加者数			800(人)	800(人)	男女共同参画講演会は、当面「あいち国際女性映画祭」の豊明会場誘致となる。会場を文化会館大ホールと想定したため、入場定員の800人を指標とした。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(人)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	711										
	直接事業費 b(千円)	944									
	人件費 c(千円)	1,210									
	合計コスト d(b+c)(千円)	2,154									
	単位コスト d/a(千円)	人当たり 3	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 活動実績は、成果指標と同じ入場者数とする。平成18年度は、直接経費1,464千円から入場料520千円を差し引いたものとした。単純に委託費の1,200千円が直接経費ではない。

		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
2-4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(単位)	711(人)									
	後期目標値に対する達成度(%)	88.9(%)									

3 事務事業の自己評価結果

3-1 評価結果(アウトカム自己分析)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価		B									

- 4段階評価結果
- | | | |
|--------------------------------|-------|--------------------------------|
| A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する | 判断の基準 | 必要性(必要な事務事業であるか) |
| B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要 | | 公共性(公が実施する意味があるか) |
| C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要 | | 妥当性(ニーズに対して投入が適正か) |
| D : 事務事業の廃止が相当 | | 効率性(結果に至る活動に無駄はないか) |
| | | 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか) |
| | | 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか) |

3-2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識			次年度に向けて改善する取組み			事務事業の担当課としての単年度の取組みの自己評価		
	平成18年度	予算や業務運営等の課題を今後検討しつつ、映画という手法で映画祭ではない事業も視野に入れていきたい。	映画祭で来場するゲスト接待を、映画上映中から午前中に変更し、案内場所・接待時間等の充実化・効率化を図る。	映画祭の集客力は大変高く、男女共同参画を広く啓発することができた。男性の参加や若年層の参加を促進できるよう努力していきたい。	平成19年度			平成20年度	
平成21年度				平成22年度			平成23年度		
平成24年度				平成25年度			平成26年度		
平成27年度									

4 事務事業の総合評価結果

4-1 総合評価の結果		結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	B	目的達成のため、多様な手段も検討しながら開催すること。	
平成19年度			
平成20年度			
平成21年度			
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			